

# 大学発ベンチャーの研究會

## 経営課題解決目指す

京都府中小診断協会

京都工芸繊維大

京都府中小企業診断協会（京都市下京区、山脇康彦会長、075・325・5731）と京都工芸繊維大学は共同で9月に大学発ベンチャー企業の経営研究会を立ち上げる。協会に所属する診断士がベンチャーの現状を調査した上で、経営課題の解決につなげる。まず同大学発の企業と連携する。1回目の研究会は9月4日に魁半導体（京都市下京区）を迎えて、京都工芸大創造連携センター（京都市左京区）で開く。年度内に、計3回の研究会開催を計画している。

中小企業診断士とベンチャーのマッチング機会を両者にとっても提携は大学発ベンチャー企業は研究会は中長期の視点

に立った経営課題や事業計画・承継の問題点を洗い直し、討論を深める。2012年度は19社ある京都工芸大発ベンチャーから3社と連携。年度内で他にウインドナビ（同左京区）、エマオス京都（同南区）との研究会を開く計画だ。

同協会の成岡秀夫専務理事（成岡マネジメントオフィス社長）は「今回の京都工芸大との経営研究会に所属する診断士は約130人。このうち独立しているのが約30%で、残りの約70%は企業に所属している兼業型。ただ、業務内容は自治体などから請け負う資格審査

や講師派遣が多いという。一方のベンチャー側も外部機関との折衝は、研究会での産学連携や技術移転が中心になる。

2012年8月9日 25面  
日刊工業新聞掲載記事